

(1) 第3回検討委員会の結果

- 第3回検討委員会では、骨子案・素案文章案について、次のとおりご意見をいただきました。

項目	各委員からの主な意見	発言	意見への対応
将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・将来像について、「5水道事業者全体における」という記載を加えれば、主体や方向性が明確化する。 ・30年後の将来像の枠組みや取組みを明確にすべきである。 ・30年後の到達状況を示した方が良い。 	渡部委員 亀山委員 福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・将来像に反映 ・素案5章の柱Ⅰ～Ⅲごとに将来像を実現するための目標を追加 ・素案4章に図を追加
最適な水道システム	<ul style="list-style-type: none"> ・アイコンの意味や使用方法を明確化してほしい。 ・アイコンは外注して分かりやすく情報発信すべきである。 ・「計画的更新」を「計画的修繕・更新」にすべきである。 ・4つの目標に水質の安全性は含まれるのか。平常・災害時を両立する表現を検討すべきである。 	亀山委員 鎌田委員 成田委員 長岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの要素をそれぞれキーワード化し、キーワードをデザイン化することを検討 ・表現を改めた ・表現を修正した
取組の方向性(全体)	<ul style="list-style-type: none"> ・将来像の実現に向けた目的・目標を記載すべきである。 ・各取組にアイコンを表示し推進を示す工夫があると良い。 ・各取組にアイコンとの関連を表示する工夫があると良い。 	渡部委員 亀山委員 長岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・素案5章の柱Ⅰ～Ⅲごとに将来像を実現するための目標を追加 (・現時点では4要素との関連を5章で示していない)

(1) 第3回検討委員会の結果

(前ページからの続き)

I 水道システム最適化に向けた施設整備と運用・管理

項目	各委員からの主な意見	発言	意見への対応
I-1.より安全で効率的な水道システム構築に向けた施設整備と運用	<p>① 浄水場の増強と管理等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管路の整備等の等を明確化すべきである。 ・管路整備等の目的（バックアップ等）を明確にすべきである。 ・管路情報システムの一元化の観点を取り入れるべきである。 ・寒川事業のあり方を踏まえ、浄水場の統廃合を記載すべきである。 <p>② 効率的かつ安定的な水運用と原水の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取水位置の上流移転は記載してよいのか。 <p>③ 浄水処理と水質管理の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域水質管理センターの効率化を積極的に記載すべきである。 	<p>亀山委員、 長岡委員 石井委員長 遠藤委員</p> <p>成田委員</p> <p>鎌田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・素案文章を修正 ・記載する ・素案文章を修正
I-2.施設の健全性を保つための点検と計画的な修繕・更新	<p>② 施設の維持管理性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理性の内容を明確化すべきである。 ・「維持管理性の向上」にしてほしい。 	<p>長岡委員 石井委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・素案にコラムを追加 ・タイトルを修正

(1) 第3回検討委員会の結果

(前ページからの続き)

Ⅱ 自然災害や多様なリスクへの対応強化

項目	各委員からの主な意見	発言	意見への対応
-	<p>① 自然災害・多様なリスクに備えた施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模停電についての考え方について確認したい。 ・ 自然災害には火山噴火を含むのか確認したい。 ・ サイバーテロへの対応について確認したい。 <p>② 組織対応力及び関係者との連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「他の水道事業者」の前に「全国各地の」を追加すべきである。 ・ より具体的な内容とした方が良い。 ・ ハードとソフト、事前と事後対応を整理すべきである。 ・ 自然災害や事故など用語の定義を考慮すべきである。 	<p>遠藤委員 遠藤委員 渡部委員</p> <p>長岡委員 福田委員 鎌田委員 福田委員</p>	<p>・ 第3回委員会で回答（非常用電源燃料の確保、火山噴火を含む、サイバーへの対応は十分）</p> <p>・ 素案文章を修正</p> <p>・ 同じ意味で使用する表現を統一</p>

(1) 第3回検討委員会の結果

(前ページからの続き)

Ⅲ 経営基盤の強化

項目	各委員からの主な意見	発言	意見への対応
Ⅲ-1. 将来を見据えた財政・事業運営	<ul style="list-style-type: none"> ① 長期的な視点に立った財政運営 <ul style="list-style-type: none"> ・経営の持続性の観点から財政状況の開示を記載すべきである。 ② 事業環境の変化に応じた事業運営 <ul style="list-style-type: none"> ・改正水道法の経営基盤強化に合致させた表現にすべきである。 	福田委員 石井委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・「重視すべき視点」の文章に記載 ・素案文章を修正
Ⅲ-2. 事業推進に必要な人材の確保・育成と職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ② 働きやすい職場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・「全ての職員が健康的」の箇所に効率性を加えるべきである。 ・働き方の見直しの必要性について伺いたい。 	福田委員 長岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・素案文章を修正 ・将来も働きやすい職場環境を継続するため必要と判断した

取組みに当たり重視すべき視点

項目	各委員からの主な意見	発言	意見への対応
—	<ul style="list-style-type: none"> ・先進技術と先端技術の定義を考慮すべきである。 ・環境への貢献は、地球環境とすべきである。 ・「分かりやすい情報の発信」に「積極的」という表現を加えるべきである。 ・タイトルは「各種情報の発信」とすべきである。 	鎌田委員 鎌田委員 鎌田委員 石井委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・表現を「先端技術」に統一 ・素案文章を修正 ・素案文章を修正 ・タイトルを変更

(2) 企業団議会での意見

- 議会1月定例会において、新ビジョンの検討に関連するご意見をいただきました。

項目	意見・質問の要旨	意見・質問への対応
30年後の将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・骨子案の前半部分では、自然災害の増加や人口減少・老朽化など、厳しい現状と将来展望が示されているが、「概ね30年後の将来像」は“前向き過ぎ”な印象を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・素案4章の中で、課題を解決するための「5事業者の目指す方向性」と「企業団の役割」を示す
取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「取組みの方向性」の文章案は、記載されていることは方向性としては正しいと思うが、30年ですべて達成するのは困難ではないか。財政面など実効性の観点に留意すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「取組みの方向性」の各項目に関する具体的な施策・目標は実施計画に記載する
水道システム再構築	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のダウンサイジングについて、構成団体との取組みの方向性について確認したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョン検討委員会で方向性を共有化し、連携推進会議等で具体を議論する
経営基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> ・30年～50年後を見据え、職員の働き方や企業団の使命を提示し、人材育成に主眼を置くべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方：素案5章Ⅲ－2に記載 ・企業団の使命：素案4章「2 広域水道としての企業団の役割」に示す

(3) 企業団内部での検討

- 検討委員会後、委員会、企業団議会の意見を踏まえ、内部会議やプロジェクトチーム(PT) 会議などで議論してきました。

検討グループ	主な検討
プロジェクトチーム 集中会議 (12月23・24日)	・ 第3回検討委員会の意見を踏まえた素案の作成
水質管理のあり方検討 (広域水質管理センター・ 浄水課)	・ 構成団体へのヒアリング ・ 独自水質目標に関する有識者への相談 ・ 水質マネジャー級会議・技術部課長級会議における検討

(4) 3月以降 個別ヒアリングの実施

- 3月に、有識者委員及び構成団体に「新ビジョン素案」について個別ヒアリングを実施し、**有識者委員からは20件以上、構成団体からは40件以上**のご意見を頂きました。
 - 5月に、上記意見を踏まえ修正した「新ビジョン素案」について、**有識者委員**に個別ヒアリングを実施し、**20件以上**のご意見を頂きました。
- 本日まで検討いただく「新ビジョン素案」は、
上記の意見を反映したものとなっています。